

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To Club Presidents and Secretaries of District 276

ROTARIANS--UNITED IN SERVICE--DEDICATED TO PEACE

ロータリアン--奉仕に結束-平和に献身

TORU TANAKA
GOVERNOR 1987-88 DISTRICT 276
OFFICE : HANDA ROTARY CLUB
1-1-1 GINZA-HONMACHI HANDA JAPAN TEL.0569-21-0302 FAX.0569-22-4833

田中徹
国際ロータリー第276地区 ガバナー1987-88
ガバナー事務所: 〒475 半田市銀座本町1-1 半田商工会議所内
TEL. 0569-21-0302 FAX. 0569-22-4833

No.10 昭和63年3月20日

田中徹



= 世界社会奉仕(W.C.S) = フィリピンの給食センターにおいてクラブ会長と共に

4月は雑誌月間



■ W.C.S.フィリピンの現状を視察して

ガバナー 田中 徹

わが276地区は以前からフィリピンに対して手をさし延べて来ました。1986~87年度は地区レベルで29項目16,500US\$、分区レベルで3項目2,300US\$と368カートン。クラブレベルで8項目5,900US\$と日本円80万円及び教育用品等の援助を行ないました。

これらの実績は日本でも特筆されるべき援助であります。然しながら我々の善意が如何に理解され、援助物資が如何に機能しているか、又、他に緊急を要するものがあるのか、反省と今後の活動を模索するため私自身この目で確かめ、又、現地のロータリアンと話し合いたいと思ひ出掛けました。

2月22日(月)

大阪発11:00、T G621便。マニラ着14:00。気温34℃暑い。空港には378地区ガバナー JESSと数人のロータリアンがお迎えてくれる。直ちにマニラホテルにチェックイン。荷物を置いてマニラ第二分区の分区代理であるエリック・マルケスと滞在中の細部の打合せ。このエリックはバグンバヤン R.C.のパスト会長で滞在中大変ご厄介になった。彼は誠実な紳士でロータリー精神にも富み心から信頼してよい人物であると思った。

夜はD381地区ガバナー レリー・レイエス主催の歓迎夕食会。スペイン統治時代の城壁の中の古風なレストラン。

2月23日(火) 晴れて暑い

アキノ大統領と会見の予定が立てられていたがこの25日が革命記念日で（この日、マルコス大統領がフィリピンを去った）職務極めて多忙のため日本の官房長官に当るエルフレエン・クルス大臣に会う。

彼は「先日、お国の竹下首相が来られ政府として援助すると約束されたが、どうか側面よりこれに助力されたい。又、フィリピン人が沢山日本に行っているが、これらのフィリピン人に温かい手をさし延べてやってほしい」と言はれ



エルフレエン・クルス大臣を囲んで

る。40才代の若い閣僚とお見受けしたが立派な人物である。

次いでマニラ総合病院を視察。ここには昨年度、移動レントゲン一台を寄贈した。医師50名。看護婦150名、入院患者1日平均250名。外来患者1日平均300名。公立病院である。この病院には現在三台のレントゲンがあるが二台は故障中。日本からのレントゲン一台のみが稼動していた。もう日本では使用されていない中古品であるが全ての診療科で利用されていたのには驚いた。レントゲン室はあるがX線の防護もされずこの様に酷使しては寿命も短かいであろう。そして問題があった。それはレントゲンフィルムが入手できないこと。フィルム購入の予算が少く年初の1ヶ月で1年分を消費してしまう——それ程フィルム購入予算が少いのであった。

ちなみに医師の給与は1ヶ月約1,000ペソ。日本円にして7,000円である。これでは生活ができ



寄贈したレントゲンの前で



ぬので医師は数病院をかけ持ち勤務すると言う。又、点滴は公立病院なので最初の一本は公費であるが二本目からは自己負担。

午後はパラニヤケ・コムニティー病院を見る。ここには酸素テントを寄贈してある。13人の医師と36人の看護婦がいて入院者58人、外来は1日平均250人という。看護婦をはじめ医師、事務職員など大勢が私の周囲に集まってくれ色々と説明してくれた。看護婦の給与は医師より高く1,200ペソ（8,400円）であるが医師のように兼務ができない。玄関横に救急車一台があり。今は稼動していた。今まで運転手の給料とガソリン代がなくて動いていなかった。

病院は古い木造でICUと表示された部屋があったので（救急蘇生装置）驚いて見せてもらったが中はベットが塵まみれになっていた。ベットのみで何もなかった。

院長はせめて1台のレントゲンがほしいと切実に訴えられた。日本ではX線のない病院は考えられない。

フィリピンには日本のように社会保障制度はない。病院は公立と私立がありお金持ちは私立病院に行く。従って私立病院は鉄筋の立派な設備を有し、公立病院は国からの予算が少ないので全ての面で劣っている。



学校給食の現状を見る

2月24日(水) 暑い

朝9時D378ガバナージエスの迎えで学校給食の現状を見る。1週5日の給食をしているが多くの学童は欠食勝ちで、この給食を与えないといふ。この手伝いにインター・アクト、ローター・アクトが奉仕をしていた。

この学校の近くに貧民街があり見学。水道はあるが便所がない。板を打ちつけたような長屋にこれだけの人が住んでいようとは。1畳ほどの広さに4～5人が寝るのである。どこに行つても子沢山であるが宗教上、産児制限はしていないと言う。そしてこの子供達はお金がないで就学していない。これはニューマニラハイツ、ホーシュピレヂの貧民街いづれも同様であった。地元のロータリーは就学率を高めるための学校給食、教材の分与、環境保全、親たちへの職業指導に力を入れていた。

午後はトアソン小学校を訪問。150人の生徒に15人の先生。やはり家庭が貧しいので就学率が悪い。歯科治療の設備がありロータリーがこれを援助していた。然し設備といつても机と木製の治療用椅子があるだけであった。

又、高校のインター・アクトの活動ぶりも観察。プラスバンドで迎えてくれフィリピンの踊りを見てくれた。歯科治療室があり消毒薬が棚に配置されていた。

マニラのローター・アクトやインター・アクトはクラブ活動に大変側面協力をしていた。日本とはやや事情が異なるため活動範囲も広いのである。

明日の革命記念日の前日ということで街は交通も渋滞し警備も強化されていた。ホテルの出入りにも厳重なボディーチェック。

夜はD381レイエスガバナー主催の懇親会へ。会場はガバナーが持主である競馬場。最上階のロイヤルボックスで競馬を見ながら。このレイエスはナッシュビルの国際協議会で私を待っていてくれ今までの地区のWCSに心からの謝辞を述べられたガバナーである。彼の奥さんはルーシーといい現役の女優である。

2月25日(木) 暑い

午前モンテンルバの日本人墓地に詣でる。今日は革命記念日で途中の要所には装甲車と軍隊が出動している。何が起きてもいけないのでホテルに戻り休養。連日34℃～35℃の暑さで寒さに慣れた身体は疲れが強い。

夜8時D378のクラブ会長が迎えに来て、どうしても夜間例会に出てくれと言う。車に乗ったが通常20分程度の距離を3時間以上かかった。



革命記念日で道という道は車で通れない。会場へ着いたのが11時を過ぎていた。4つのクラブの合同例会で私の到着を待っていてくれた。遂に午前霧時を過ぎ私はgood morningと挨拶したら爆笑が起きた。ホテルに戻ったのが午前2時。

2月26日金

朝8時迎えの車がくる。D380のマラボンのクリニックを見る。途中、煙草の丘と云われる貧民街を通る。ゴミの山を燃やし常に煙が立っているのでこの名が付けられた。然しこのゴミの山に住んで生きている人達が沢山いたのである。異様な匂いが立ちこめ同じ人間として、かかる暮しもあるのかと思う。

このクリニックはマラボン R.C.が作り内科と歯科があり例会もこゝで開催している。入口の壁にWCSで協力してくれたクラブ名が銅版に刻まれて架けられてあった。名古屋南ロータリークラブの名があった。この地域では水道がなく水は石油カン一杯が約4円である。受診できない地域住民にとってこのクリニックは救いの神の存在で大勢の患者が来ていた。こゝでは医師(女医)の給料180US\$その他運営費でかなりの予算を必要としクラブは基金を設けていたが不足であった。

次いでバグンバヤン R.C.の給食センターを見る。1日30人の子供に給食をしていたが、ほとんどの子供達は栄養不良であった。建物はロータリアンが炊事は夫人達が労力を提供していた。これこそ真の奉仕である。

昼はマニラヒルトンホテルのD381の4クラブ合同例会に出席。D386ガバナー アントニオにもD381直前ガバナーにもお目にかかる。この席で今までのWCSに対しての感謝状を地区を代表して受領。4つのクラブとはサンミゲルマニラ R.C.、ユニバースティデストリクトマニラ R.C.、バグンバヤンマニラ R.C.、イントリムロスマニラ R.C.、である。

マニラ発3時40分、TG620便、大阪着7時40分忙しい旅を無事に了えた。この旅を通じて先導下さった三河第二分区、加藤分区代理さんに心からのお礼を申し上げます。

出発前には何故フィリピンか、現地のロータリーは何を奉仕しているのか、色々の疑問もありました。然し現実の姿をこの目で確認して悉く氷解したのである。即ち同じアジアに援助を必要とする人々が沢山いるという現実、その国のロータリーは物心両面で活動していた、然しそれでも不足勝ちであるという事実、ロータリアン及び夫人、そしてインタークト、ロータリアクトは労力さえ提供していた姿を確かに見たのである。国情、社会保障が異なるので日本では想像できない悲惨さが残っていたのである。

この旅は私にとって貴重な体験であった。



D381の4クラブ合同例会に出席

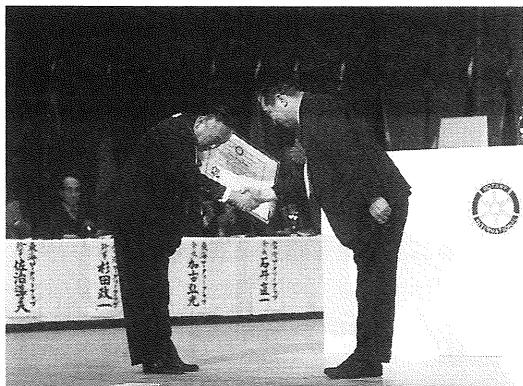
知多ロータリークラブ誕生に想う

ガバナー 田中 徹

知多半島に新しいクラブをという話は数年前からありました。故人となられた田辺パストガバナーもそのお一人であります。1昨年、尾張第一分区が分割し知多半島が1つの分区となったのを機にこの熱望が再燃しました。常滑ロータリークラブはテリトリーを割譲し、又、隣接する東海ロータリークラブは新会員の発掘に勤められました。そして永井特別代表の精力的な推進がクラブ拡大を実現されたのです。

勿論、困難は山積していましたが私はロータリーはやればできるという1つの見本を見た様な気がして居ります。

会員増強、クラブ拡大は奉仕の機会を広め友人を増やすばかりでなく日本のロータリーの発言力の強化に直結していることを銘記いたゞきたいのです。例えば規定審議会の代議員は1地



田中ガバナーから認証状を安藤会長へ

区1名であり、現在日本は28地区28名しかありません。会員数、財団寄与率から見ても日本のロータリーは強力であってよいと思います。

2月19日第三回ガバナー会でも提案がありま

1987~88年度 第276地区

意義ある業績賞決まる

1.名古屋守山ロータリークラブ

【業績】

①永年にわたり青少年奉仕活動の助成・育成をはかり功績のあった人へ「青年功績賞」を贈った。

特に、守山区ボランティアサークルは、昭和52年に厚生大臣から「児童健全育成賞」を受賞したすばらしい団体であるが、この育成に名古屋守山ロータリークラブの全面的なバックアップがあった。

そして後輩の指導、陰の総監督として若者達の相談役にあたった。

中でも、守山ロータリークラブでは「青年功績賞」を設定、今までにも功績者に賞を贈っていたが、今回「青年功績賞内規」を作り、さらに充実した賞とした。

②福祉教育の作文集の支援

③その他

イ.学区交通少年団の発足に際し、贊助金を贈る

ロ.交通安全の願いをキャンパスに描こう大会に賞など協賛する。

した。4つの県にまたがる地区的分割と80クラブ以上の地区的分割でした。又、100名以上のクラブの拡大についても大いに議論が出ました。

私は公式訪問でも世界的視野に立った日本のロータリー、日本の中の我が276地区の重みについて申し上げました。

この様な観点から知多半島に芽生えた一粒の種は実は分区にも地区にも日本のロータリーにも大きな功績を成すものであります。

認証状伝達式には地区内外から多数のロータリアンがご出席下さいました。私はロータリーの友情の温かさというものを感じました。

会長・幹事の皆さん、今一度、増強、拡大ということを考えてみてくれませんか。

ハ.海外へボランティアサークルの会員が研修に行く時の渡航費用の助成

ニ.海外から迎えた交換学生が、日本で催された交通安全キャンペーンや書道展に積極的に参加してもらい国際交流を支援

2.犬山ロータリークラブ

【業績】

①ポリオプラス計画の推進

本年度 RI の重点事業の一つであるポリオプラスに対し、ポリオプラス委員会を設立し種々事業計画を立て推進した。

イ.街頭募金の実施

ロ.大場照子他の童謡歌手によるチャリティーショーの開催

ハ.法人より募金も集めた

ニ.テレホンカードの販売

ホ.その他

以上の運動を通じ、3,025,200円を集めて頂き、ポリオプラス基金とした。



1988-89年度 分区代理決まる

尾張第一分区 吉田 守 (半田 南)

名古屋第一分区 渡辺 裕 (名古屋東南)

名古屋第二分区 蜂谷 弘道 (名古屋和合)

東尾張分区 加藤 守 (尾張 旭)

西尾張分区 加藤 千博 (尾西)

三河第一分区 岩瀬 正雄 (蒲郡)

三河第二分区 吉田 五郎 (豊田 東)

祝 創立 30周年記念

安城ロータリークラブ

安城ロータリークラブの創立30周年記念式典は、2月6日安城市文化センターで、田中ガバナーをはじめ、多数のご来賓のご出席の下で開催された。ロータリー財団特別寄付8,300%達成、米山特別寄付功労クラブ達成、ハンチントン・ビーチ・クラブとの姉妹クラブ提携等、6件の記念事業の披露があり、国際友好の中で、盛大且つ厳肅に執り行われました。



名古屋和合 R.C. が800回目の例会

名古屋和合 R.C.（会長片岡正明）では2月17日(木)12:30から開く例会で、昭和47年の創立以来800回目を迎えました。このため記念マーク入りのリンゴを出席会員に配布すると同時に、「和合の箱」への協力をお願いしました。

記念マークの入ったリンゴの品種は「むつ」、同クラブのマーク「和G O」の間に例会数の800を入れたワッペンを貼ってつくったもので、フルーツ専門店を経営する片岡会長が寄付されました。

「和合の箱」は昭和54年以来例会の都度小銭を入れてもらう箱で、毎年10万円程集り、豊明市の豊ヶ丘農工学院（矯正施設）の和合文庫の拡充資金として贈呈しているそうです。



交換学生が岡崎市長訪問

岡崎南 R.C. がホストのオーストラリアのタスマニア島出身のラトローブ高校生ザラ・グリンヒルさんと、4月からオーストラリアに留学する岡崎市の光ヶ丘女子高校二年永谷尚美さんの両名が1月22日中根岡崎市長を表敬訪問し国際ロータリーが行っている青少年交換事業のPRをしました。





田中ガバナーをお迎えして

ロータリー研究会を開催

名古屋中ロータリークラブ
ロータリー情報委員長 福与碩夫

当クラブは創立以来18年を経過して順調に増強が進み現会員数は136名に達している。特にここ5年間の増強は著しく、創立以来の当クラブのテーマである「若さと情熱」は今日も絶ゆることなく受け継がれ、親睦と友情の輪は拡る一方である。しかし急速な増強は逆に会員のロータリーに関する知識の伝達を希薄にさせているのも事実である。本年度の当クラブの一柳会長はその就任に当たって会員へのロータリー情報を重要な柱の一つとして取り上げられました。当委員会としては、これを実際に行動に移す計画の一環としてロータリー研究会を開催することに致しました。

本研究会の目的は

1. ロータリーの組織運営に関する情報の伝達手続要覧、ガバナースレター、ロータリーの友、THE ROTARIAN、文献事務所等より資料を収集する。R情報委員が行う。

2. ロータリーの歴史的意義の研究

「ロータリーの理想と友愛」の抄読会を通じて、創立者ポールハリスのロータリーに対する情熱、哲学等に関する研究を行う。

幹事により当クラブ会員で比較的入会年次の古い方、中間の方、新しい方を三等分して計16名を選んだ。

3. ロータリー・ライブラリー（ロータリー文庫）への訪問

4月14、15日に実施予定。

4. 拡大ロータリー研究会の開催

本年5月頃、抄読会その他の成果をまとめて実施する。



今回、ガバナー、地区幹事をお迎えして開催したのは、6回にわたって実施した抄読会の全体のまとめとしてその成果をご覧頂き、併せて何かとご教示頂くこととした第7回目の研究会であった。創立者ポールハリスの著書から我々が学び得た事は国を超えた奉仕に対する深い洞察力と高い理想を実現しようとするひたむきな姿ありました。

当日ガバナー、地区幹事は地区クラブ奉仕委員長会議を豊橋でお済ませになりお疲れのところ、とて返して、私共の研究会にご出席頂きました。参加者一同その暖かい友情に感激するのみでした。公式訪問という場とは違った形で田中ガバナーからいろいろなお話を親しくお伺いすることが出来、その警咳（ケイガイ）に接することができました当夜のことは参加者全員の望外の収穫がありました。

研究会の成果が小冊子としてまとまりましたら地区内クラブの皆様にも是非ご披露させて頂きたいと思っています。

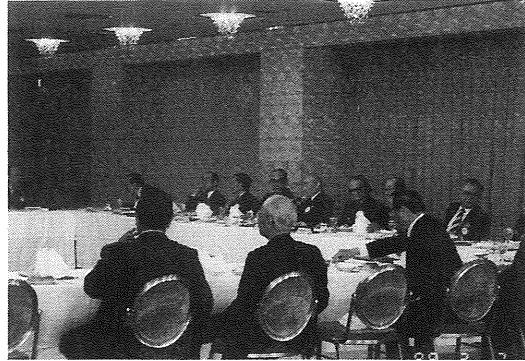
以上



ロータリーの「友」はロマンへのシルクロード



第276地区
ロータリーの友委員会
委員長 磐村 浩隆



「表紙がいい・少し気取ってる・女性入会・ポリオプラス等」は地区委員の声。この「友」や「英語版『TOMO』は世界平和への洒落たシルクロード。知性のハードウエア・感性と柔軟性のソフトウェア構造。

(1)運営委員会：委員長は地区ガバナーの会議で決まるパストガバナー・副委員長は1人で委員長指名・特別顧問は元委員長の5人・顧問は委員長委嘱の直前ガバナー5人・4人の常任委員も委員長指名で運営管理に当たる。28人の地区委員（ガバナー委嘱）と編集長1人。基本方針は常任委員会で決めを行い、重要事項はガバナーハイ会議・合同会議に地区委員も加わる。良い点は委員任期にある。正副委員長・常任委員長は2年で再任可能・顧問1年・地区委員原則1年通常2年・会員の主張や意見を吸収する重要なパイプである。

(2)編集スタッフの感性：全委員が参画するが味付けはスタッフの腕。創立以来の編集長が端正で格調ある伝統を貫き、「TOMO」編集長の理知的な英語、寡黙だが誠実で着実な他の男性スタッフ。女性スタッフは多数派。個々に美しい感性が光り彼女達の瞳は印象的。

「英語版 TOMO」：「友」の紹介・意見の他独自に執筆を依頼する。「諮問委員会」を設置しRI元会長・元理事が主体。海外での相当の評価を得て日本紹介の最適な雑誌の一冊である。

(3)日本人の勤勉性：高い知性に加え、我々の美德は向上心・気配り・調和等であろう。全て

物事を几張面に遂行する。「友」は RI 指定の記事掲載の責任がある。毎月送信は遅れ胃が痛む。国際通信料も高む。今年は FAX を入れた。ラブレターが来ない。貢の割り振りが出来ない。国民作業意識の差であろうか。

この意識の違いはその国の気候風土・言語・文化・風俗習慣等による賜物。信仰も加って一つの哲学が生まれる。優劣ではなく、価値の目盛の違い。更に同質社会と言われる我々の内でも同じ事。クラブでも同様であろうが、地区委員の意見発表に関しても、「友」への毎月のアンケートには参考になる意見が多い。だが2ヵ月毎の合同委員会での発言には討論や論争は無い。発言者は決まっている。所属クラブがホストする年次大会の PR の声もない。何故自分達の地区だけなのか。たとえ大会の収容能力に問題があるにしても。せめて近隣地区の仲間と杯を挙げたいもの。ロータリーの原点は自己啓発。多様性を要ぶ個性の基で補完し合い、会員間の相互作用で生成されるもの。我々は「言外の含み」なる美德のヴェールに隠れ、都合のいい時だけヴェールを取る。これは経済的には西洋の追随から指導的立場に追り上った、有史以来の我国に相応しい行動ではない。新しい指導国には「新しい美学思想」が必要である。

新しい美学思想：人間は平等であって平等ではない。人間本来の平等性は多く宗教的な面に認められる。だが反面、事実人間は千差万別、著しく不平等にできている。平等扱いはうまく



行く筈もなく又本当の救いにもならない。多様性の価値・不平等の肯定の基で個性は輝く。日本のロータリアンの各々が、心の中に「個性を重視の自覚」を深めること。人生のロマンは何と言っても自分の選択している職業を通じてこそ達成できるもの。その為には、我々が良き家庭・働き甲斐のある職場・快適な地域社会・立派な日本国に成ってみせる事が目前の課題である。これは世界平和・共存共栄への行動であり、新しい文明へのシルクロードである。このロマン

溢れる道の先頭を歩く人は日本のロータリアン以外に無いであろう。東西両文明を程良く融合させる事に成功し、独自の新しい文明を創る能力が我々にはあると自負している。又実現させなければならない義務が我々にはある。「個性の要重」と「中庸の精神」で。田中ガバナーの説明の様に「友」は内外への情報提供・広報の源泉。活用の如何は会員のロマンへの情熱次第であろう。

1987-88年度第2回

クラブ奉仕委員長会議報告



R.I.第276地区クラブ
奉仕委員長
吉田 市郎

日 時 1988年2月13日(土) 14:00~16:00
場 所 豊橋グランドホテル 8F蓬萊の間
ホスト 豊橋北ロータリークラブ
出席者 第276地区 クラブ奉仕委員長 61名
特別出席者

R.I.第276	地区ガバナー	田中 徹
〃〃	ガバナーノミニー	高沢 隆
〃〃	アドバイザーP.G.	森 泰樹
〃〃	〃〃 P.G.	加藤直一郎
〃〃	地区クラブ奉仕委員長	吉田市郎
〃〃	〃〃 副委員長	中村繁男
〃〃	〃〃 委員	加藤政良
〃〃	地区副幹事	内田栄一
〃〃	次期クラブ奉仕委員候補	山内 疊

1. 田中ガバナーより、第一回会合に於いて質疑出来なかった事項(ロータリー情報について)その重用性につき説明があり、偶々2月11日に行われたロータリー情報特別講習会に出席した中村繁男クラブ奉仕委員長より詳細解説があった。

2. 2月11日ロータリー情報に関するインストラクションで行われた事項の内、ロータリーの基礎的事項に関する設問を配布、各人の解答を求め、ガバナーより正解並びに簡単な説明があった。

3. 各クラブに於いて行われている親睦活動委員会、プログラム委員会につき質疑応答があった。活動状況発表により、各クラブの発言は次第に活発になってきた。

4. アドバイザー各位より批評並びに体験発表があり、ガバナーの総評により活況裡に終了した。

5. 1988-89年度の委員は未発表の為、次期ホストクラブ等については言及されなかった。

近く International Assembly にご出発の高沢隆ガバナーノミニーのご健勝を祈りつつ閉会した。
(文中敬称略)



1988-89年度のための

国際ロータリー第276地区協議会 <開催ご案内>

江南ロータリー・クラブ地区協議会 実行委員会

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| ●日時 昭和63年4月24日(日) | ●参加者 1.出席義務者 |
| 登録 10:00~10:30 | (1)次期クラブ会長 |
| 本会議及び分科会 10:30~15:40 | (2)次期クラブ幹事 |
| | (3)次期クラブ奉仕委員長 |
| | (4)次期会員増強委員長 |
| ●場所 本会議場 江南市市民文化会館大ホール | (5)次期職業奉仕委員長 |
| 分科会場 江南市市民文化会館大ホール | (6)次期社会奉仕委員長 |
| 江南市保健センター | (7)次期国際奉仕委員長 |
| ●ホストクラブ 江南ロータリークラブ | (8)次期青少年奉仕委員長 |
| ●登録料 1.クラブ負担金¥100,000 (10名分) | (9)次期ロータリー財団委員長 |
| 2.一般参加者 お一人¥10,000 | (10)次期米山記念奨学委員長 |
| | 以上 8 分科会 計10名 |
| | 2.一般参加者 |
| | 3.特別参加者 |

国際ロータリー第276地区協議会プログラム

10:00~10:30	登録	
10:30~11:30	本会議 点鐘 国歌斉唱 ロータリーソング (奉仕の理想) 開会のことば 歓迎のあいさつ 特別出席者紹介 ガバナーあいさつ 新しい年度の目標について 諸事お知らせ	(司会) S A A 伊藤英紀 ガバナーノミニー 高沢 隆 ソングリーダー 大森美奈子 (ローターアクト) 実行委員長 真野則光 ホストクラブ会長 広瀬正勝 ガバナーノミニー 高沢 隆 ガバナー 田中 徹 ガバナーノミニー 高沢 隆
11:35~12:40	昼食	
12:40~14:50	分科会 8会場	
14:50~15:00	移動・休憩	
15:00~15:40	本会議 ガバナー講評 カバナーノミニー講評 次期ホストクラブ発表 次期ホストクラブ代表あいさつ ロータリーソング (手に手つないで) 閉会のことば 点鐘	ガバナー 田中 徹 ガバナーノミニー 高沢 隆 実行副委員長 佐野 建 ガバナーノミニー 高沢 隆



分区別会員数及び出席率

昭和63年1月度

	クラブ名	1月度出席率	1月末会員数		クラブ名	1月度出席率	1月末会員数
尾張第一分区	半田	99.11	69	西尾張分区	あま	100.00	85
	半田南	98.57	55		尾西	96.12	58
	東知多	88.77	50		一宮	97.97	93
	常滑	98.27	58		一宮北	96.43	88
	東海	97.27	54		稻沢	100.00	58
	知多	100.00	24		西春日井	98.33	63
	小計	97.00	310		尾張中央	100.00	44
	名古屋	96.30	227		津島	100.00	88
	名古屋南	100.00	128		小計	98.61	577
	名古屋港	100.00	114		渥美	92.92	61
名古屋第一分区	名古屋瑞穂	100.00	79		蒲郡	98.09	79
	名古屋中	99.81	132		奥三河	90.22	49
	名古屋西	98.85	158		新城	93.59	52
	名古屋大須	99.67	76		田原	98.32	80
	名古屋東南	100.00	86		豊橋	99.77	123
	小計	99.33	1,000		豊橋北	99.23	112
	名古屋千種	95.79	55		豊橋南	99.65	79
	名古屋東	99.06	110		豊川	93.31	81
	名古屋北	99.30	99		豊川宝飯	94.10	47
	名古屋名北	100.00	61		小計	95.92	763
名古屋第二分区	名古屋名東	100.00	67		安城	98.97	81
	名古屋守山	97.54	86		碧南	100.00	80
	名古屋和合	100.00	97		一色	96.36	55
	小計	98.81	575		刈谷	100.00	89
	犬山	100.00	79		西尾	98.71	81
	岩倉	98.57	36		岡崎	100.00	99
	春日井	100.00	86		岡崎東	99.28	75
	小牧	98.10	73		岡崎南	100.00	85
	江南	99.26	71		高浜	100.00	48
	名古屋空港	100.00	63		豊田	100.00	93
東尾張分区	尾張旭	99.36	52		豊田東	99.29	70
	瀬戸戸	99.06	80		豊田西	98.46	97
	瀬戸北	99.56	57		小計	99.26	953
	豊山城北	98.55	71		第276地区合計	98.36	4,846
	小計	99.25	668				



行事予定

- 3月20-21日 ローターアクト・クラブ年次大会
ホスト 熱田 R.A. 名古屋サンプラザ
- 3月26日(土) 第5回 地区諮問委員会
- 3月26日(土) 地区年次大会会長・幹事会
13:30-17:00 ホスト 半田 R.C. 名古屋観光ホテル
- 3月26日(土) R.I.会長代理夫妻歓迎希望晚餐会
ホスト 半田 R.C. 名古屋観光ホテル
- 3月27日(日) 第276地区1987-88年度地区年次大会
ホスト 半田 R.C. 半田市福祉文化会館
- 3月28日(月) 親睦ゴルフ大会知多カントリー倶楽部
-
- 4月9日(土) 会長エレクト研修セミナー
豊橋グランドホテル
- 4月10日(日) 三河第二分区 I.G.F.
ホスト 一色 R.C. 一色町生きがい健康センター
- 4月16-17日 第260地区1987-88年度地区大会
ホスト諏訪 R.C. 諏訪市
- 4月23日(土) 第6回 地区諮問委員会
- 4月23日(土) 地区協議会指導者会議
14:00-19:20 ホスト 江南 R.C. 名鉄ニューグランドホテル
- 4月24日(日) 1988-89年度地区協議会
10:00-15:40 ホスト 江南 R.C. 江南市民文化会館
江南市保健センター

文庫通信 第12号

〔ロータリー文庫
〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階（電話03-433-6456）
執務=午前10~午後5時 休館=土・日・祝祭日〕

今回は4月の雑誌月間に因んで、文庫に登録されている資料の中から下記のとおりご紹介致します。

「ロータリーアン雑感」 岡山東 R.C. 1971年 14頁 [文庫]

「雑誌・会報委員会テキスト（私案）」 中田有保 1974年 22頁 [文庫]

「ロータリーの友（各）委員資料集」 中田有保 1974年 48頁 [文庫]

「雑誌委員長懇談回資料」 D.270 1977年 78頁 [文庫]

「温故知新 ロータリーの今昔」 遠藤健三 1987年 7頁 [宅0482-32-0001]

「クラブ雑誌委員長 会議」 D.258 1987年 25頁 [D.25803-238-0106]

「THE ROTARIAN READER A 75-Year Anthology」 R.I. 1986年 339頁 [R.I.]

注：〔 〕=問い合わせ先

—あめでとうございます—

新ポール・ハリス・フェロー

12月

岩田 孝（名古屋）	伴 辰三（豊川宝飯）
後藤 新蔵（名古屋）	三嶋 勉（岡崎）
石田 銃一（犬山）	真木 昭（名古屋東）
奥村 保彦（犬山）	森下 歳（尾張旭）
中村 幸夫（蒲郡）	鴨井 俊雄（西春日井）
犬飼 高義（名古屋名北）	長繩 秀男（春日井）
清水 徳光（名古屋守山）	廣瀬 瑞弘（名古屋瑞穂）
松原 幹彦（一宮北）	浅野 周一（名古屋名東）
吉水 宏道（名古屋和合）	尾畠 収哉（春日井）
藤城 新市（豊橋南）	上田孝次郎（春日井）

新米山功労者

1月

加藤 泰弘（名古屋名東） 河合 梅雄（豊橋南）

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

2月4日 鶴田福一郎（名古屋南 R.C.）

2月9日 奈良 輝夫（名古屋港 R.C.）

2月28日 坂野 幸平（東海 R.C.）